じゅうにちょうめぜき

県営 十二丁目堰地区 土地改良事業計画書

農業農村整備事業

(農業用用排水施設)

岩 手 県

土地改良事業計画書

目		次	
第1章 目 的	1	2 $\frac{3}{7}$	経営耕地広狭別農家数及び耕地の
第2章 地域及び地積	1		分散状況並びに専兼業別農家数
第1節 地 域	1	3 [動力農機具及び主要家畜頭数
第2節 地 積	1	4	主要作物作付状況
第3章 現 況	2	5)	農業の動向
第1節 気象及び海象	2	第6節	地域環境の概況
1 一般気象	2	第4章 一	-般計画
2 特殊気象 ************************************	2	第1節	事業計画の要旨
3 海 象	2	1 -	要 旨
第 2 節 土地状況	3	2	事業別面積
1 地形・土壌及び侵食の程度	3	第2節	営農計画及び土地利用計画
2 土地分類	5	1 1	営農計画の概要
3 土地利用の状況	6	2	土地利用区分
4 土地所有の状況	6	3 1	作付方式
第3節 水利状況	7	4 2	生産計画
1 用水状況	7	5	労働改善計画 19
2 排水状況	11	6 ř	級地別土地利用区分 ————————————————————————————————————
3 河川状況	12	7	土地配分計画
第4節 道路概況	13	第3節	用水計画
1 道路概況	13	1	計画基準年
2 主要道路一覧表	13	2	計画かんがい方式
第5節 地域農業の概況	14	3	計画用水系統
1 産業別就業人口	14	4	用水量

5 水源計画

第4節	排水計画	24	5 その	O他かんがい施設	2
1	計画基準雨量	24	第2節 排	水施設	3
2	計画排水方式	24	1 排7	火水門	
3	計画排水系統	24	2 排7	大機	3
4	排水量	24	3 排7	大路	3
5	排水対策	25	4 その	O他排水施設	3
6	たん水検討	25	第3節 道	路及び索道	3
第5節	道路計画	25	1 道路	文 [1]	
1	道路及び索道		2 索道	<u> </u>	3
2	路線配置図		第4節 農	用地造成	3
第6節	農用地造成計画		第5節 洪	水調節施設	3
第7節	洪水調節計画		第6節 干	拓施設	3
第8節	干拓計画	26	第7節 農	用地整備施設	3
第9節	農用地整備計画	26	1 区區	重整理	3
1	区画整理	26	2 暗沙	是排水	3
2	暗渠排水	27	3 客=		3
3	客土	28	4 農地	也保全	3
4	農地保全	28	第8節 老	朽ため池改修施設	3
第10節	老朽ため池改修計画		第6章 附带	[事計画	3
第5章 主	要工事計画	29	第7章 工事	の着手及び完了の予定時期	
第1節	用水施設		第8章 環境	との調和への配慮	
1	貯水池	29			
2	頭首工	29			

29

29

3 揚水機

4 用水路

第9章 換	奥地計画の概要	34
第1節	換地計画を作成する上での	
	基本的な考え方	34
第2節	換地区の設定	34
1	換地区の名称、所在、面積 ************************************	34
2	換地区を設定する理由	34
第3節	換地計画樹立の基本方針	35
1	従前の土地の地積の基準	35
2	用途別予定地積	35
3	農用地集団化の方針 ************************************	36
4	非農用地の換地方法	36
第4節	土地の評価及び清算の方法	36
1	評価の方法	36
2	清算の方法	36
第5節	換地計画樹立の年度計画	36
第6節	換地処分の時期に関する特則	36
第10章	事業費の総額及び内訳	37
第11章	効 用	37
第12章	関連する事業	38
第13章	現況・計画図面	38

第1章 目 的

本地区の取水施設は、花巻市太田地内の一級河川北上川水系豊沢川に架かる平成橋上流部に位置し、木工沈床や袋詰玉石及び根固めブロック等により築造された用水受益217.8haの取水源である。

本施設の取水は、河川内の素掘り導水路を介し、下流に位置する取水門に導水しているが、度重なる洪水被害により、取水施設の流失や導水路の洗堀を繰り返しているほか、河床低下により安定的な取水が困難な状況となっている。

そのため、本事業により頭首工及び導水路を新設し、用水の安定供給を図るとともに、施設の維持管理の軽減を図るものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地	域
農業用用排水施設	岩手県花巻市及び北上市地内	

第2節 地 積

(R.5 年10月現在) (第2表)

事業	名	現況地目市町村名	田	畑	原 野	山林	その他	計	備	考
農 業 用排水施	用設	花 巻 市 北 上 市	198. 8 19. 0	ha	ha	ha	ha	198. 8 19. 0		
合	計	40 <u>T</u> 114	217. 8					217.8		

第3章 現 況第1節 気象及び海象

1 一般 気象 (岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版)

観測所名	花巻	かんがい	がい期非かんがし		い期	計又は	正仏	J		考	
観測期間	H20年~H29年	5月~8月		9月~4	月	日 人/よー	7-10		備	47	
平 均	気 温	20. 5	\mathbb{C}	6. 0	${}^{\sim}$	10.8	$^{\circ}\!\mathbb{C}$				
降水量	平均	581.6 n	nm	744. 3	mm	1, 325. 9	mm				
一件 小 里	基 準 年	n	nm	_	mm	<u> </u>	mm				
降水日数	平均	43	日	89	目	131	日				
件/八百数	基 準 年	!	日	_	目	_	日				
根雪	期間	12月2	21日 ~	~ 2月28日		70.0	日間				
無霜	期間	5月7	'目 ~	10月17日		164	日間				
最多	風 向	S		最大風	速	17. 1	m/s				

2 特殊気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版)

観測所名	花	巻		第	1	位			第	2	位			第	3	位			第	4	位			第	5	位		備	考
観測期間	M34年~	~H29年	数量	年	月	日	発生 確率	数量	年	月日		発生 確率	数量	年	月	日	発生 確率	数量	年	月日		発生 確率	数量	年。	月	日	発生 確率	VIII	7
	日雨量 ~H29年	(mm)	202. 0	Т9.	8.	9	1/283	201. 0	H19.	9.]	17	1/273	165. 0	S57.	8.	30	1/72	164. 0	S23.	9.	16	1/70	160. 0	S32.	8.	5	1/60		
	F間雨量 ~H29年	(mm)	65. 0	S32.	8. 5	5. 24	1/61	61. 0	H26. 9	9. 10.	16	1/46	51. 0	H19.	9. 1	0.6	1/22	47. 0	S47	. 8. 3.	2	1/16	37. 0	S42. 6	6. 5.	16	1/7		
	寺間雨量 ~H29年	(mm)	119. 0	S32	. 8. (6. 2		73. 0	S47.	8. 3.	3	1/10	70. 0	H17. 6	5. 27	. 17	1/8	68. 0	S33.	9. 18.	14	1/7	67. 0	H29. 9	9. 12	2. 7	1/6		
	延続雨量 ~H29年	(mm)	321. 0	T9.	8.	10	1/661	233. 0	S22.	9.	15	1/65	217. 0	H19.	9.	18	1/42	211. 0	M43	. 9.	3	1/35	210. 0	S54.	8.	6	1/34		
最大連続 M34年~	Ē干天日数 ~H29年	(目)	56	S18.	6.	28		53	S21.	7.	10		42	S53.	6.	26	1/859	39	S48.	6.	23	1/254	39	S3.	7.	18	1/254		

第2節 土地状況

1 地形・土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事	地目		KK O LIK	B	El .				畑	· そ	の他				受益地	標高	備考
事 業 名	傾斜区分	1/1000 以下	$1/1000 \sim 1/100$	100~ 1/20	$1/20\sim$ $1/11.5$	1/11.5 以上	計	3° 3° ~ 以下 8°	8° ∼10°	$8^{\circ} \sim 15^{\circ}$ $10^{\circ} \sim 15^{\circ}$	8° ∼15°	$15^{\circ} \sim 20^{\circ}$	20° 以上	計	最高	最 低	
農業用 用排水 施設	面 積 (ha)		217. 8				217. 8								m	m	
施設	比率(%)		100				100								81	64	
	面 積 (ha)																
	比率(%)																
合	面 積 (ha)		217. 8				217. 8										
計	比率(%)		100				100										

(第4表-1-2)

													()
				土壌	統 (区)区分	一 覧	表			面和	漬(ha)	
項目					土 均	儴 断	面				事	業 名	
				酸	土		性	泥炭層	堆	母			備考
土壌統(区)名	色	腐植	礫層	化沈澱	表土	下力	層 土	黒泥層 及び	積 様		十二丁目 堰	計	
				物	一層	二層	三層	グライ層	式	材			
灰色土壌粘土構造型	黒褐色	含む	無し	有り	Lic	Lic	Lic	無し	水積	非固結堆積岩	37.0	37. 0	F50
灰褐色土壤 強粘土構造型	灰褐色	無し	無し	有り	Lic	Lic	Lic	無し	水積	非固結堆積岩		137.3	G60
灰褐色土壌粘土層 構造マンガン型	灰褐色	富む	有り	有り	CL	CL	Lic	無し	洪積	非固結堆積岩 固結火成岩	2.3	2. 3	G61
礫層土壌 壌土マンガン型	灰褐色	有り	有り	有り	Lic	Lic	Lic	グライ無し	水積	非固結堆積岩	41. 2	41. 2	K93
計											217.8	217.8	

戸台	区分 目堰	50 I 21. 0 15. 9	60 II 52. 8 40. 1 4. 1	61 III 1. 3 1. 0	93 VI 27. 0 13. 3	50 4 0.1	60 5 40. 3	93 7 0.9	計 116. 4 57. 0 27. 0 17. 4
Ī	計	36. 9	97. 0	2. 3	40. 3	0. 1	40. 3	0.9	217.8
50 60 61	灰褐色 花褐色土壌		土構造型 造マンガ		37. 0 137. 3 2. 3 41. 2 217. 8				

該当なし (第4表-1-3)

			× 1 5 0										()() 1 2 1 0/
事	業名	区 公	土	♪悪 (/)	流亡	率			充 亡 速 厚	子	ガリ浸飽	浊の速度	備考
7	来 泊		0	$0 \sim 25\%$	25%~50%	50%以上	0	3mm未満	$3\sim$ 5mm	5mm以上	中程度	大	7/11 /5
農	地	面積(ha)											
保	全	比率 (%)											

2 土地分類 該当なし

(第4表-2-1)

													<u> </u>
級地別					農用	地	造成						
	一級地		二級	地			三糸	汲 地		四糸	及 地	計	備考
	形汉卫臣	*	3° ∼8° 8	$8^{\circ} \sim 12^{\circ}$	$12^{\circ} \sim 15^{\circ}$	*	15° ∼20°	20° ∼25°	$25^{\circ} \sim 30^{\circ}$	*	30°以上		
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		※は傾斜
													以外の要
計													

(第4表-2-2)

級位別		干		拓		備	艺
	一級地	二級地	三級地	四級地	計	νĦ	4
	ha	ha	ha	ha	ha		
計							

3 土地利用の状況

(H20年10月 現在) (第4表-3)

												,	10/4 /	- 1	17	17120
	土地利用別		兼	#		地			Щ	林	採草 放牧地	原野	その他			
事業名	市町	水 田	普通畑	牧草地	果樹園	桑園	茶園	その他の 樹園地	用材林	薪炭林	放牧地		-C 0716	計	備	考
	村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			
典光田	花巻市	198. 8												198.8		
農業用 用排水施設	10.6.114	100.0												130.0		
	北上市	19.0												19. 0		
合	計	217.8												217.8		

4 土地所有の状況

<u> </u>	ואו היייאינטנ					(R. 5年12月 現右	Ξ)	(第4表-4)
事業名	所有別 区 分	国有地	市町村有地	私有地	その他	計	備	考
	面積(ha)			217. 8		217.8		
	受 益 者 数 (人)			307		307		
農業用 用排水施設	筆 数 (筆)			821		821		
	権利関係							
	備 考 (関係戸数)			307		307		
	面 積 (ha)			217. 8		217. 8		
	受 益 者 数 (人)			307		307		
合計	筆 数 (筆)			821		821		
	権 利 関 係							
	備 考 (関係戸数)			307		307		

第3節 水利状況

1 用水状況

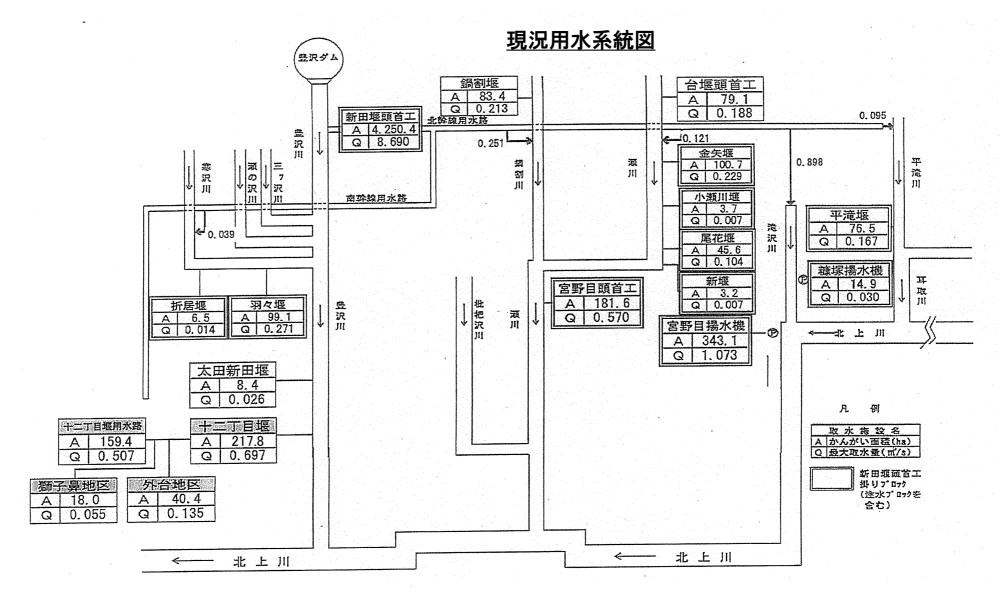
本地区の用水は、一級河川豊沢川に位置する取水門から取水し、幹線用水路である十二丁目堰用水路を介し、受益地に供給している。

- (1) 用水系統 別紙現況用水系統図参照
- (2) 用水施設

(ア)取水方法一覧表

(第5表-1)

事	項目		がい面		計	水利権	慣行水利権	延べ取水量	
事 業 名	Marin 6		00∼100ha	100ha未満					備考
名	施設名	箇所 ha f	箇所 ha	箇所 h	箇所 ha	箇所 m3/s	箇所 m3/s	m3/s	
	貯 水 池								
農	井堰		1 217.8		1 217.8	1 0.697			
農業用用排水	自然取入口								
排水水	揚水機								
施設	その他								
	計		1 217.8		1 217.8	1 0.697			
	合 計		1 217.8		1 217.8	1 0.697			



※十二丁目堰の現行水利権許可面積は231.8haであるが、水利権更新時に農地転用を考慮し217.8haに変更予定。

(イ)改修を要する施設の一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更 新 年	改修を必要とする理由	備考
	貯 水 池							
.tts	井堰	1	217. 8	木工沈床 袋詰玉石			洪水被害による取水施設の流出により、 安定的な取水が困難であるため。	
農業田田	自然取入口							
用排	揚水機							
農業用用排水施設	用 水 路	1	(頭首工受益の内数) 217.8	土水路 コンクリート水路	L= 600m		洪水被害による導水路の洗堀により、安 定的な取水が困難であるため。	土水路 L=250m コンクリート水路 L=350m
IX.	その他							
	計	1	217. 8					
	貯 水 池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	その他							
	計							
	合 計	2	217.8					

(3)用水に関する被害状況

(ア)用水不足による被害状況

該当なし

(第5表-3-1) 量 不 足 水 平均減産量 かんがい 項目 現 況 かんがい期最大不足水量 かんがい期総不足水量 事業名 考 面積 必要水量 備 平 均 平 均 基準年 基準年 作物名 減産量 系統名 (千m3) (t) (ha) (m3/S)(m3/S)(千m3) (千m3) 農業 用 用 排 水 施

(イ)その他の被害状況

計

合

該当なし

(第5表 -3-2)

事業名	時期別	かんがい 面 積 (ha)	水 沿 最 高	且 (℃) 最 低	水	質	被害量 (t)	備	考	(3)02 0 2)

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

(第5表-3-3)

事	業名		想定被	害 面 積	(ha)			想	定	被	害 額	(百万円)		備	考
#	未石	田	畑	その他	計	作	物	農	地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	7/HI	7
合	計														

2 排水状況

該当なし

(2)排水施設

(ア)排水方法一覧表

該当なし

(第5表-4)

事		、項 目		排	水	面	積							
業			500	ha以上	500	~100ha	100	ha以下		計	排水慣行	現況排水能力	備	考
名	施	設 名	ケ所	(ha)	ケ所	(ha)	ケ所	(ha)	ケ所	(ha)	(m^3/s)	(m^3/s)		
	自	排水路												
農業	然	水門												
用 用	機	排水機												
排 水	械	水門及び 排 水 機												
施 設	1/1/4	排水路及び 排 水 機												
		計												
合		計												

(イ)改修を要する施設の一覧表 該当なし

(第5表-5)

事業名	 施設	項目 t名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構	造	規	模	新設年又は 更 新 年	改修を必要とする理由	備	考
	自	排水路										
農業	然	水門										
用 用 排	機	排水機										
水		水門及び 排 水 機										
施設	械	排水路及び 排 水 機										
		計										
É	7	計										

(3)排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

	項目	排水			湛 水	状 況			湿	田状	况 (ha	a)		平均	减産量	(2),	7042 0)
事業名		面積	降水量 (mm)	湛水深	湛水 時間	湛水	湛水量		田	火	田	その	他	作物名	減産量	備	考
	系統名	(ha)	(IIIII)	(cm)	(hr)	面積 (ha)	(千m3)	乾	湿	乾	湿	乾	湿	1 1 F W 20	(t)		
		‡ 2	平 匀														
		1 1 4	基 準 干														
		<u> </u>	平 匀														
合	計	\frac{1}{2}	基 準 手														

3 河川状況

(1)河川状況

該当なし

(第5表-7)

項目河川名	流路状況	勾	配	断	面	計画洪水量 (m³/s)	既往最大洪水量 (m³/s)	備	考

(2)洪水に関する被害状況

該当なし

(第5表-8)

項目	農用地	農用施設	作物	公共施設	備考
区分	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	VIII 45
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況

1 道路概況 該当なし

2 主要道路一覧表 該当なし

(第6表)

NO	路線名	管理区分別	延 長 (m)	幅 全 幅	員 (m) 有 効	構	造	改修の要否	備	考

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

													添作	寸資料P7	4参照		(第7表-1)
項目	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸通信業	卸売業飲食店	少 院	不動産業	サービス業	公 務	その他	備	考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
花巻市	53, 772	8, 195	107	6	28	4, 627	10, 052	210	2, 702	8, 431	844	157	16, 563	1, 594	256		
北上市	48, 495	4, 138	23	1	30	4, 191	14, 374	220	2, 632	6, 949	783	254	13, 443	1, 086	371		
計	102, 267	12, 333	130	7	58	8, 818	24, 426	430	5, 334	15, 380	1,627	411	30, 006	2, 680	627		
比 率(%)	100.0	12. 1	0.1	0.0	0. 1	8.6	23. 9	0.4	5. 2	15. 0	1.6	0.4	29. 4	2.6	0.6		

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

									添作	寸資料P71, 72₹	参照	(第7表-2)
区分	農家				経営	耕地	立 狭 別	農家数	(戸)			
	総戸数	例外規定の適用	0.3~	0.5~	1.0∼	1.5~	2.0~	3.0∼	5.0~	10.0∼	20ha	自給的農家
市町村名	(戸)	を受けるもの	0. 5	1.0	1. 5	2.0	3. 0	5.0	10.0	20.0	以上	日和印辰多
花巻市	5, 872	47	517	1, 136	767	585	637	436	265	61	15	1, 406
0.1.												
北上市	3, 883	20	360	715	431	345	350	227	176	67	19	1, 173
計	9, 755	67	877	1,851	1, 198	930	987	663	441	128	34	2, 579
比 率 (%)	100	1	9	19	12	10	10	7	5	1	0	26

添付資料P71,73参照 1 戸当り平均農用地面積(ha) 耕地の分散状況 専兼業別農家数 (戸) 区分 考 1戸当り団地数 団地当り面積 樹園地 小 計 草 地 計 専 業 田 市町村名 (ha) 第一種 第二種 (ha) 2種に自給的 花巻市 1.77 0.15 0.06 1.98 0.08 2.06 860 625 4,387 農家含む 比率(%) 86 7 3 96 100 15 10 75 2種に自給的 北上市 2,978 農家含む 1.96 0.11 0.02 2.09 0.05 2.14 603 302 92 5 77 比率(%) 98 100 16

3 動力農機具及び主要家畜頭数

2015・2020年農業センサス (第7表-3)

														2010		1 /12	/K _	V 9 / \	(知(以 3)
項目			重	- / - /-		į					主	要	家音	Î					
7 月	乗用ト	ラクター	動力隊	方除機	動力田	∃植機	自脱コン	バイン	乳 用	牛	肉 用	牛	豚					備	考
市町村名	数 量	戸 数	数量	戸 数	数量	戸 数	数量	戸 数	数量序	数数	数量戸	数数	数量序	ョ 数	数量	上一	数	7月	45
川町村名	台	戸	台	戸	台	戸	台	戸	頭	戸	頭	戸	頭	戸	羽	3	戸		
花巻市	4, 386	3,601			3,063	2,985	2, 569	2, 450	838	26	4, 243	260	9, 440	9					
北上市	2, 784	2, 222			2,030	1,957	1, 715	1,607	114	5	2, 577	90	29, 274	11					
計																			
日	7, 170	5,823			5,093	4,942	4, 284	4,057	952	31	6,820	350	38, 714	20					
100戸当たり数量		台		台		台		台		頭	<u> </u>	頭		頭					
100アヨたり剱里	123				103		106		3,071	項	1,949	與	193, 570	與					
利用戸数割合		0/		0/		%		0/		%		0/		%					
作用广致司口	60	%		%	51	70	42	%	0.3	%	4	%	0.2	70					

4 主要作物作付状況

2015・2020年農業センサス _(第7表-4)

									・2020年農業で	<i>/ リハ</i>	(第7表-4)
	市町	· 村 名	花巻市		北」	上市	計	平均			
	総耕地	面 積 (ha)	15, 800	ha	9, 070	ha	24, 870	12, 435	作付率		
	総本地	面 積 (ha)	12, 700	ha	7, 990	ha	20,690	10, 345		備	考
作物	7 名	区分		位面積当たり 収量 (kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	単位面積当たり 収量 (kg/10a)	作付面積	単位面積当たり 収量 (kg/10a)	(%)		
	表作	水稲	7, 390	565	4, 740	563	12, 130	564	48.8		
田	裏 作	_									
		小 計	7, 390		4, 740		12, 130		48.8		
	春夏作	小麦	1, 150	207	655	180	1,805	197	7. 3		
畑	秋冬作	大豆	458	140	965	137	1, 423	138	5. 7		
		小 計	1, 608		1,620		3, 228		13. 0		
樹	果	樹等									
園地											
		小 計									
		計	8, 998		6, 360		15, 358		61.8		
市	町村別延	べ作付率(%)	56.9 %		70. 1 %						

5 農業の動向

													2010,	2015, 2	2020年	農杯	業セン	ノサフ	スより		(第	7表-5)	
区分	項目	農		家	土		地	主星	更 作	物	大	家	畜	動力	農 機	具	地地	域指定	定等		備	考	
	\widehat{C}		B (H27)	A (R2)		B (H27)	A (R2)	作物名	B (H27)	A (R2)	家畜名	B (H27)	A (R2)	農機具名	B (H27)	A (R2)				A:	令和	2	年
変	年 を	総農家数	87	68	耕地	99	92	水稲	99	98	乳用牛	71	79	トラクター	90	_		振	H4. 4		(2, 020)
化	100	専 業 農 家 数	100		田	100	92	雑穀類	72	80	肉用牛	102		動 力田植機	84	_	野		S45. 10	В:	平成	27	年
0	とす	第一種兼 業農家数	72		畑	90	103	豆類	104	116	豚	141	88	コンバイン	89	_		樹	H2.5		(2, 015)
状	る 指	第二種兼 業農家数	87		樹園地	93	76	麦 類	109	127	採卵鶏	110	95	動 力 防除機			酪	農	H1.3	C:	平成	22	年
況	数	農 業 従事者数	77	54				野菜類	51	63											(2,010)
								花類	155	88													
イ <i>〇</i>	変化の理由	農家数及る。			農地集積の増加に地を除くか加している。	半い、 各面積	樹園	水稲は、 いとなっ 田の汎用 麦類の栽 いる。	ており 化が図	、水 られ	畜産農家いる。		して	農作業の るため、 コンバインの でいる。	大型トラ	クター、							

第6節 地域環境の概況

本地区の受益地は、一級河川北上川右岸及び一級河川豊沢川右岸に拓けた水田地帯であり、林地帯を含めた地域一体の田園風景が安らぎや憩いの空間を創設している。また、幹線水路周辺には、様々な植物が生育するほか、昆虫類ではチョウ目のオオチャバネセセリ、 魚類ではイワナ、ヤマメ、サクラマス、エビ目のサワガニ、鳥類ではノスリ、サンコウチョウ、カワセミなど、様々な生き物が生息している。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本計画は頭首工及び導水路を新設し、用水の安定供給を図るとともに、施設の維持管理の軽減を図ることを目的とする。

2 事業別面積

(第8表)

事業名		農業	用 用	排水	施設												
土地利用区分	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小 計	水	田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小	計	計	備	考
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)		
用水改良	217.8					217.8									217.8		
																()はF 益との	用水受)重複
計	217.8					217.8									217.8	, i	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

本地区の基幹作目は水稲であり、稲作中心の大型機械化営農体系を確立させ、農地集積を促し安定した営農経営を図る。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名		土地利用 区分	水日	普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	その他	小	計原	野	山林	その他	計	備	考
	区分		(}	na) (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	((ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
農業用用排水	現	況	217. 8	3					217.	8				217.8		
施設	計	画	217. 8	3					217.	8				217.8		
計	現	況	217. 8	3					217.	8				217.8		
П	計	画	217. 8	3					217.	8				217.8		

3 作付方式

(第9表-2)

																													- \/	1020
事業名	項目	経営類型	土 地			1	年目								:	2年目									3年	目			值	前 考
			利用区分	1 2	4	5 6	5 7	8 9	10	11	12	2	3	4	5	6 7	8	9	10 11	12	1	2 3	4	5	6	7 8		11 12	2	
農業	現況	複合経営	水田		\circ									\circ	\triangle								0	\triangle						
用																														
用 排	計	力	水 田		0	\triangle								\circ	\triangle								0	Δ						
水	画	複合経営	畑利用						0									(0								0			小麦
施設			畑利用													O —									0					大豆

4 生産計画

「面積は本地面積」 (第9表-3)

		T		11.	/ 1	7-b 11.	71 -	3)7.71		=			-		関係が下に田/関	(2)	9衣=3)
#	\ 項	目		作	付面		付率		面積当たり			生 産 量		同左生産量	関は予地回傾し は増減の内訳		
事			/ h			(ha)	(%	6)	(2				(t)		(t)		-17 .
事業名	土地		作物名	·							\	-ı·			単位面積当たり	備	考
名 元	利用区	$\langle \cdot \rangle$		現 況	計画	増減現	兄 計「	画 現況	計画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	収量増減		
31:	·1/11 🔼	//													7人里/日/9人		
		表作	水 稲														
		2(11	/3 ·	156.3	156.3	75	0 75	. 0 558	558		872. 0	872. 0					
		± 1/ -														管理ス	水田
		表作	小 麦	20.8	20.8	10	0 10	. 0 224	224		47. 0	47.0				いなき	び等
農			, ,,													飼料	乍物
)TX	L	表作	大 豆	31. 3	31. 3	15	0 15	. 0 137	137		43.0	43.0				飼料d 野菜	华
SHA	水		八 豆	31.3	31. 3	10	0 15	. 0 137	137		45.0	45.0				判米	: 寸
業		表作															
		2411															
用		表作															
) I I		衣作															
	田																
用		表作															
排		表作															
121		2(1)															
.1.		表作															
水		1XTF															
		⇒ 1															
施		計		208 4	208.4	1	00 1	00									
_				200. 1	200. 1	1	30 1	00									
設	普 通	春夏作															
取	通																
	畑																
	八川																
		⇒ 1															
		計															
					+												
	合	Ē	十	200 4	200 4	1	00 1	00									
				208.4	208.4	1	JU I	00									

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地	作 物 名	作付面積		単位面積当第	労働投下量 (hr.	/10a)	備考
7,77,7	利用区分	,, ,,	(ha)	区分	現 況	計 画	増減	
農		水稲	21. 0	人力	128. 30	96. 10	△ 32.20	技術体系1-2 → 技術体系1-3
		(集積)	21. 0	機械力	204. 10	170. 30	△ 33.80	
業								
用								
	水							
用								
排								
	田							
水								
施								
設								
	計		21. 0					
	合言	Ì †	21. 0					

6 級地別土地利用区分 該当なし

7 土地配分計画 該当なし

第3節 用水計画

1 計画基準年

昭和42年 (上位事業 県営かんがい排水事業 豊沢川地区の計画基準年に準じる)

2 計画かんがい方式

パイプライン 代掻期 4月26日~5月10日

普通期 5月11日~9月10日

3 計画用水系統

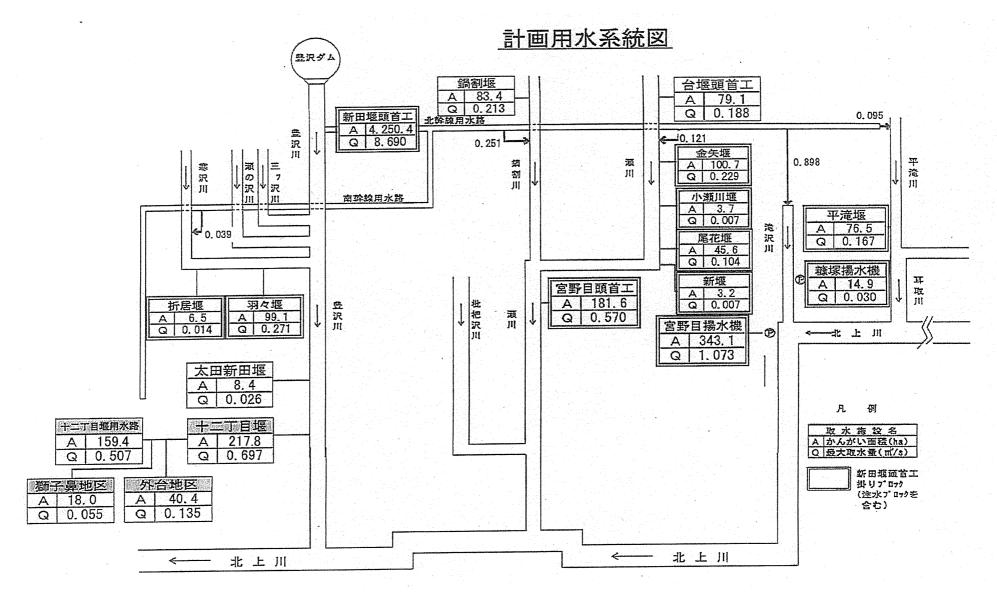
次頁参照。

4 用水量

(1)かんがい用水 (第10表-1-1)

項目	衽		i積(ha) 事業名	水目	日かんがい	`	水田	畑利用		畑地か	n ん カ	() E	その	他	消	損	粗用	水量	
	種			普通期	代掻期			 11			 11.				費	失	_		
		農排業水		計画平	計画代	面	1日当り 計画平均	平均 間断	面	1日当り 計画平均	平均 間断	面	計画平均 単位用水	面	水		平	最	備考
T. 47 17	別	果施 用設	計	均単位 用水量	掻単位 用水量	積	かん水深	日数	積	かん水深	日数	積	量	積	量	率	均	大	
系統名		713 BX		(mm/目)	(mm)	(ha)	(mm/\exists)	(日)	(ha)	(mm/\exists)	(目)	(ha)	(mm/日)	(ha)	(m3/s)	(%)	(m3/s)	(m3/s)	
十二丁目 堰		217.8	217. 8	13~23 (14~24)	100~130 (140~182)	217. 80									0. 465	10	0. 517	0. 697	
計		217. 8	217.8			217.8									0. 465		0. 517	0. 697	

(2)営農飲雑用水 該当なし



※十二丁目堰の現行水利権許可面積は231.8haであるが、水利権更新時に農地転用を考慮し217.8haに変更予定。

5 水源計画

(1)水利用計画

※非かんがい期を除く

(第10表-2-1)

													(3)1	.012 4 1)
	項目					現	l況利用可能	水量	不足	水量	水源位	次存量	水源	
	XH	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場 利用可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量	工種	備考
区分	7	a	b	c=a-b	d=c/(1-α)		е	f	g=e-f	h=d-е				損失率
		$(\mathbf{f}_{\mathbf{m}}^3)$	(千m³)	(千m³)	(千m³)		$(+m^3)$	(千m³)	$(\mathbf{T}_{\mathbf{m}}^{3})$	$(\mathbf{T}_{\mathbf{m}}^{3})$		$(+m^3)$		$: \alpha$
農業	水田	5, 758		5, 758	6, 398	十二丁目堰	6, 398	6, 398						水田
用用														10 %
排水:														
施設	計	5, 758		5, 758	6, 398		6, 398	6, 398						

(2)用水対策

(ア)貯水池

該当なし

(第10表-3)

												171.	1012 07
	項目	流域	面積 (k㎡)	かんが 事	い面積 業	(名	(ha)	純貯水量	利用貯水 量	利用回数	最大取水	備	考
貯水池名		直接	間接	ほ場整備			計	(∓m³)	里 (千m³)	(回)	重 (m³/s)	ν Π	77

(イ)井堰および自然取入口

(第10表-4)

											()()101011
項目	河川名	流域面積	かんか 事	がい面積 業	(名	(ha)	取力	く量 (m³/s)	渇水量	備	考
取水施設名	刊/11/12	(k m ²)	農業用 用排水施設			計	最 大	平 均	(m^3/s)	VĦ	7
十二丁目堰	一級河川 豊沢川		217.8			217. 8	0. 697	0. 517			
計			217.8			217. 8	0. 697	0. 517			

(ウ)揚水機

該当なし

(第10表-5)

項目	水源名	かんがい面積 事 業	(ha) 名	所要水	量 (m³/S)		揚った	k 機		備考
名称	小你石 -		計	最 大 (m³/S)	平均 (m³/S)	実揚程 (m)	揚水量 (m³/S)	台 数 (台)	全揚水量 (m³/S)	1
計										

(エ)用水路

(第10表-6)

						()/11012 0/
項目名称	かんがい面積 (ha) 事 業 名 農業用 用排水施設	計	最大通水量 (m³/s)	延 長 (km)	構造	備考
十二丁目堰	217.8	217.8	0. 697	0. 650	FRPM1000	
計	217.8	217.8		0.650		

(オ)その他の水源施設

該当なし

(3)水温水質

該当なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量 該当なし

計画雨量

最大1時間雨量	10年確率	mm/4ha
取八1时间的里	2年確率	mm/4ha

最大4時間雨量	10年確率	mm/4ha
最大4時間雨重	2年確率	mm/4ha

最大24時間雨量	10年確率	mm/4ha
取八四时间间里	2年確率	mm/4ha

単位排水量

地目	事項	単位排水量 1/10年確率	(m3/s/Km2) 1/2年確率	流出率(f)	備	考
Щ	地				$a = \frac{r4 \times f \times 10}{r}$	·
水	田				$q = 3,600 \times 4 \times 1$	1,000
	畑				r4:最大4時間雨量(r	mm/4ha)
宅地	・その他					

2 計画排水方式 該当なし

3 計画排水系統 該当なし

4 排水量 該当なし

(第11表-1)

			-						,					,		() 111	11/1/
項目	受 益 面	積	(ha)	流域	面積	基準雨量	降雨/ 直接単位	こよる 7流出量	基底流	出量	全排	水量(n	n ³ /s)	単位担	非水量		
+11:-1	事	業 名		(k1	m²)	本中的重		$(m^3/s/km^2)$	(m^3/s)	$/\mathrm{km}^2)$	山地	平	地		$(m^3/s/km^2)$	備	考
排水 系統名	農業用 用排水施設		計	山 地	平 地	(mm)	山 地	平 地		平 地		自然 排水	機械 排水	山 地	平 地		
計																	

5 排水対策

(1)排水水門 該当なし

(2)排 水 機 該当なし

(3)排 水 路 該当なし

(第11表-4)

項目			监面 積	(ha)	計	mi.						排	水本	Ш		
7.7. 1	流域面積	事	業	名	排水	画 量	延	長	構	造			計 画	計 画	備	考
名 称		農業用用		計	21 /31						名	称	洪水量	洪水位	V⊞	77
71 1/1	(K m ²)	排水施設		ПП		(m^3/s)		(km)					(m^3/s)	(m)		
計																
ΗI																

(4) そ の 他 該当なし

6 たん水検討 該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道 該当なし

2 路線配置図 該当なし

第6頁	節 農用地造成計画	該当なし					
第7頁	布 洪水調節計画	該当なし					
第8頁	布 干拓計画	該当なし					
第9頁	節 農用地整備計画						
1	区画整理						
	(1)区画の形状	該当なし					(第16表−1)
	長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割 合 (%)	田面差 (m)	備	考
	- 一						
	(2)表土扱い	該当なし					(第16表−2)
	面 積 (ha)	表土扱し	ツ要否の理由	扱い 深 (cm)	生 量 (m³)	備	考
					1		

(3)末端道水路配置図 該当なし

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(第16表-3-1)

項目	面	積 (ha) 事 業 名		土壌統(区)分	基準雨量	単位排水量	計画後の 地下水位	集水渠出口以下 の排水方式	備	考
区分			計	工物心色/刀	(mm/日)	(1/s/ha)	(m)	の排水方式	νπ	,
計										

(2) 心土破砕

該当なし

(第16表-3-2)

項目	面	積 (ha) 事 業 名		土壌統(区)名	土壤硬度	備	考
区分			計	上接机(区)石	上張恢反	VEI	77
計							

3 客 土

該当なし

(第16表-4)

項	目 面	積(h	ıa)	土壌統	減水深	(mm/目)	作土の厚	厚さ(cm)	10a当た	土	1壌の性質		
	事	業	名		現況	計画	現況	計画	り客土	受益地	採土地(客土	備	考
区分			計	(区)名	平均	平均	平均	平均	量(m3)	(%)	材料) (%)		

4 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 (m)	備	考

(2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

項目	基準雨量	 性	流出率	排水		備	考
区分	(mm/日)	 1生	加 山 半	単位排水量 (m3/s/ha)	全排水量 (m3/s)	7)用	芍

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備	考

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池

該当なし

2 頭首工								(第17表-2)
名 称		十二丁目堰		位 置	花巻市	太田第30地割76	1番地先	
型式	堤 高	均	是 頂(n	n)	取水位	取水量	付帯施設	備 考
至八	(m)	固定部	可動部	計	(m)	(m³/s)		
可動堰	5. 0	75. 0	25. 0	100.0	91. 877	0. 697	護岸工 護床工 魚道工	

3 揚水機

該当なし

4 用水路 (第17表-4)

項目	かんが	い面積 (ha)	l	通水量	延	長	(km)					
	=	事 業 名						構造	勾 配	主要構造物	備	考
水路名	農業用 用排水施設		計	(m^3/s)	開きょ	トンネル その他	計					
十二丁目堰 用水路	217.8		217.8	0. 697		0. 650	0. 650	^゚ イプ ライン	1/1, 300			
計	217.8		217.8			0. 650	0. 650					

5 その他かんがい施設 該当なし 第2節 排水施設

1 排水水門

該当なし

(第18表-1)

項 目 名 称	位	置	型	式	構	造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m³/s)	備	考
計											

2 排水機

該当なし

(第18表-2)

項	目	位置	排水量	揚	程 (m)	排	水	機	原	動	機	/供	考
名称		15. 但.	(m^3/s)	全揚程	実 揚 程	型式	口 径 (mm)	台 (台)	型式	動 (kw)	台 (台)	備	7
計													

3 排水路

該当なし

(第18表-3)

	項目	受益	面積 (ha)		排水量	延	長	(km)							
		<u> </u>	事 業 名				トンラル		構	造	勾	配	主要構造物	備	考
水品	路 名			計	(m^3/s)	開きょ	トンネル その他	計							
	計														

4 その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1 道 路

(1)道路の総括表 該当なし

(第19表-1)

項目	路線名	幅(有効)	×延長	構	造	付	帯構造		最	同 左 の 延 長	最小曲線	備	考
区分	时 冰 石	(m)	(km)	1 17	坦	名 称	構造	数 量 (箇所)	勾 配 (%)	延 長 (m)	半 径 (m)	TVHI	7
計													

(2) 道路主要構造物 該当なし

2 索 道 該当なし

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調整機能 該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理 該当なし

(第23表-1)

- F 6	面積	整	也工	表土	扱い	/++- +*	
工 区 名	(ha)	標準区画	土 量 (m³)	面 積 (ha)	土 量 (m³)	備考	
計							

(2) 末端用水路等 該当なし

(第23表-2)

項目区分	数	量 (m)	規	模	構	造	備	考
計								

(3) 末端排水路等 該当なし

(第23表-3)

項目区分	数	量 (m)	規	模	構	造	備	考
計								

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

該当なし

(第23表-4-1)

1															0111	1 1/
項目	積 (ha) 業 名		集	水 渠				排った	水 渠			集水	渠出口以 排水施設		備	考
区分	計	勾 配	管 種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾 配	管 種	管径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名称	構造	数 量 (m/ha)	1)/HI	4
計																
н																

(2) 心土破砕

該当なし

(第23表-4-2)

項目区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面	積 (ha)	エ	法	備	考
計								

3 客 土 該当なし

4 除 礫 該当なし

5 農地保全 該当なし

第8節 老朽ため池改修施設 該当なし

第6章 附带工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手: 令和7年度

完了予定時期: 令和12年度

第8章 環境との調和への配慮

有識者による現地調査の結果、配慮すべき希少野生動植物は確認されなかったが、地元漁業協同組合との協議により、下記のとおり生息動植物に配慮した計画とする。

1) 工法の検討

サクラマス等の河川遡上に配慮し、頭首工に魚道を設置する。

2) 施工方法の検討

施工時の泥水や沈殿物が直接河川直下流に流出しないよう、釜場(沈殿池)等を設置し汚濁防止に配慮し施工する。

3) 施工時期の検討

河川管理者や漁業協同組合と施工工程について十分に協議を行い、可能な限り生息動植物に影響を与えないよう配慮 した施工時期を選定する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積 該当なし

(第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面	積 (ha)
		<u> </u>	

2 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準 該当なし

(第25表-2)

換	地	区	名	地	積	0)	基	準	
		•	•				•		

2 用途別予定地積

該当なし

(単位:ha)(第25表-3)

	用途			非農	& 用	地区	域:	外に	換力	地す	る :	上地					非	農用地	也区域	に換地する	土地			機能			5土地		
換地区名	(取得)			山林	そ	地域土地	事業に含に合意	める 第1条		本事 て生 改良	ずる:	土地	創設	合	特定	用途	用地	異種	農業施	創設非農) 生活上・に 公用・公施設用			合			市町	合	一般国公	総合
名	換地前後	田	畑	原野	の他	土良地改設	\mathcal{O}	小計	計	改良区	その他	小計	農用地	計	宅地	その他	計	目換地	農業経営合理化施設用地	生活上・経営上心要な施設用地公用・公共用の共産権	宅地等	計	計	田	県	村他	計	国公有地	計
	従前の 土地																												
	換地																												
	従前の 土地																												
	換地																												
合	従前の 土地																												
計	換地																												

3 農用地集団化の方針

該当なし

(第25表-4)

区分	地区別、グループ別	個 人 別	換 地 の 方 法	(2)(42)
換地区名	団 地 の 設 定	位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱

4 非農用地の換地方法

該当なし

(第25表-5)

区分 換地区名	用 途	非農用地区域の 位置の概略	面積 ㎡	換地の手法	換地取得予定者	そ の 他
計						

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

2 清算の方法 該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

該当なし

該当なし

(第25表-6)

					(2	172012 07
換地区名	文 分	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備	考

第6節 換地処分の時期に関する特則 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

			(知20教)
× X	事業名	水利施設等保全高度化事業 (百万円)	備考
	主要工事	1, 367	令和 6 年度単価
付帯工事			
計		1, 367	地方事務費含まず

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目区分	年増加見込効果額(千円)	年増加見込所得額	備考
農業	作物生産効果	87, 366	87, 357	
	営農経費節減効果	14, 328	16, 807	
用	維持管理費節減効果	△ 124	△ 124	
排	災害防止効果			(農業関係資産)
水施	災害防止効果			(一般資産)
設	国産農産物安定供給効果	20, 164		
	計	121, 734	104, 040	令和 6 年度単価

(参考)

総便益額

2,489,475 千円 総費用便益比 1.38 > 1.00

第12章 関連する事業

該当なし

(第28表)

区	分	事業名	事業主体 受益面積 (ha)	事業内容

第13章 現況・計画図面

